

人と自然との関係と美しい山の植物

2年 K.M.

私が、裏磐梯に行ってみて知りたかったことは、特に、「高山植物」と「人と自然とのかわり」です。特に「高山植物」では、高山にしか生えない高山特有の植物を、見てみたかったからです。「人と自然とのかわり」では、森林の中にいる動物や、自然の美しさ、動物が残して行った痕跡などこの目で見てみたかったからです。

今、福島の人たちは、原発の事故でとても大変なおもいをしている中、私たちのために協力してくださったことを感謝しなければいけないとおもいました。

高山植物を調べてみたかった理由は、山は、とても寒いところなのに、どんなところに、生えているのかが知りたかったためです。浄土平周辺の花をみました。バスから降りるとまだ9月なのに11月ぐらいの寒さでした。高山に生えている植物などを取ると、犯罪になってしまいます。それだけ高山の植物は、大切にされているのです。

「人と自然とのかわり」では、まだ、昼だったので動物には、会えなかったけれど、痕跡を見ることができたのでよかったです。インターネットで調べると動物の足跡などの写真などが出てきてますます見たくなりました。森林の中の植物も取っては、いけないので写真をたくさんとってきました。たくさんのかたちを、学ぶことができました。でも、その美しい自然も人間に破壊されつつあるのです。

天鏡閣と自然の魅力

1日目の自然体験は、「人と自然とのかわり」でした。ネイチャーガイドは、横田清美先生でした。まず、大きな建物の中に入りました。そこは、天鏡閣です。

天鏡閣は、明治40年に有栖川宮威仁親王殿下「ありすがわのみやたけひとしんのうへいか」が東北地方御旅行中猪苗代湖湖畔を巡遊されてその風光の美しさに魅せられこの地に別荘を建てたといわれています。建物の中は、きれいなシャンデリアで天上には、きれいな模様がたくさんありました。また、女性が着るドレスが展示されていました。ドレスは、きれいなレースが付けてあったりしました。あと、個室がすごかったです。1つ1つの部屋にやっぱりシャンデリアが付いていて部屋の模様も付いていた。一番驚いたことは、トイレです。まだ、明治になって初めのころなのに洋式のトイレがあるなんてすごいと思いました。お風呂は、透きとおったガラスで作られていて「すごい！！」と思いました。そのほかの部屋には、卓球室があり広い食堂があって広々としていました。あと、和室がありました。和室は、少し狭く感じましたが、たたみのおいしかったです。あとは、お客さんがたくさん来てもいいように椅子や、テーブルが何個もありました。明治の歴史が強く感じられるところでした。

1日目は、半日という短い時間だったけど横田先生の話聞いてためになることばかりでした。まず、はじめは、どこにでも生えているつゆ草です。つゆ草の花の部分を絵に

こすると絵の具のように青くかけます。つゆ草にもこんなにもすごい役目があるのだと初めて知りました。つゆ草は、初めて見たとき「この花か……。見たときあるけど」とおもいましたが、あとからこんなふうに使えるのを知って「ただひっそりと咲いているわけではなくてこんなに使い道があるなんてはじめて知ることができました。



上の写真は、そばの花です。花は小さくとてもかわいい花でした。この花が一面に広がっていました。最初、そばの花だと知ったときたくさん咲いているので食べられるのかなと歩いていると思いました。

私は、いま、そば畑の上をあるいているようでした。白くて小さい花 バスから降りたとき一番始めに思ったことは、「あの白いかたまりのようなものは、なんだろう」と疑問におもいました。そして近くで見ると白くて小さい花でした。横田先生の話でそばの畑だと聞いてそばの花は、初めて見たのでビックリしました。



上の写真は鳥の羽です。

でも、ただの鳥の羽では、ありません。私が、草の上に落ちているのを見つけて横田先生に聞くとフクロウの羽だと言っていました。この森のどこかにフクロウがいるのだと知ったとき会ってみたいと思いました。最後は、自然に返しました



この写真は、歩いているときに横田先生を見つけました。これは、茶道などに使うようじのようなもので、においがあったのでまるで茶道をやっているみたいでした。この木の名前は・・・クロモジの木です。



これは、触っては、いけないヤマウルシというきのようなものです。さわると指にたくさんのとげがささってしまいます。そのとげは、ピンセットでとつても取りきれなくてとても痛いそうです。横田先生も触ってしまい痛い思いをしたそうです。



これは、歩いているときに見つけました。こんな形のキノコは、はじめてみられたのでとてもよかったです。



次は、こんせきについてです。
これは、くまの足跡です。雨であまり見えなかったけどみえてよかったです。



これは、テンのふんで 糞の中には、むしのしがいがありました。このテンは、虫を食べたことがわかりました。



これは、くまの爪痕です。

横田先生が3年前のものだと言っていました。私は、見る事ができてとてもよかったです。

最後に猪苗代湖に行きました

そこでは、変わったセブイレブンや白鳥丸をみる事ができました。



浄土平と高山植物の数々



硫黄がいまだに噴出している山です。

2日目のコースは、鎌沼周辺の高山植物がテーマでした。休暇村裏磐梯のホテルからバスで1時間くらい乗っているとその場所に着きました。バスから降りるとまるでホテルとは、ちがう気温の変化にとても驚きでした。しかしおどろいたことは、それだけでは、ありません。山から硫黄が噴出していました。いまにも噴火してしまいそうなので目がまんまるくなってしまいました。しかもあんな長い距離を歩くなんておもってもいませんでした。



コケモモは、ジャムなどにつかいます。あまりとれないそうです。



白くて小さい実でした。高い所にありました。



似たような花がいくつかもありましたがつぼみの大きさなどが違うので2つの花は、ちがうとおもいました。



シラタマノキは、シップのにおいででした。小さくてあまりきづきませんでした。



上の花と影、形にているので同じかと思いました。



松のような木になっていました。実は、黒くて硬かったです。

全体を通して班で活動するところはみんなと喧嘩せずに最後までやることができました。1日目と2日目の体験学習は、自分の調べたかったことやそこに行ってはじめて知ったこともたくさんあって、自分が調べたことは自然のなかのごく一部しか学べていなかったと思いました。やっぱり自然は広くてまだまだ発見や疑問に思うことがたくさんあるのだと思いました。自然の力はすごいと思いました。

最後に人と自然とのかかわりについて私が考えたことは、人が山や森に入ることは、自然を破壊してしまうけど人が破壊した自然を見たり知ったりすることで人間は、今まで自然にしてきたことがとても悪いことだとわかると思います。いまだに自然のものを取っては、いけないのにとっている人をテレビでみたりします。そういう人たちは、何を考えているのだろうと思います。そういう人たちがいなくなればいいなと思いました。そのためにネイチャーガイドの先生がいるのだなと思いました。

